

地域づくり人材スキルアップ支援事業

令和7年度小さな拠点・地域運営組織形成支援事業

持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ

地域コミュニティ共創

スキルアップ研修会

地域コミュニティ支援に役立つスキルを学ぼう！

“持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ※1”では、県内の自治体職員などが地域コミュニティ支援を行うためのスキルの獲得を目的とした学びの場を提供します。地域にお住まいの方との対話の中で、意識の醸成や合意形成を行なっていくために、求められるスキルです。皆様のご参加をお待ちしております！

● プログラム 全4回の研修会

日時	場所	内容
8/27(水) 13:30 ～ 16:00	ふくしま 医療機器 開発支援 センター	第1回：講演とイントロダクション 徳島大学教授の田口太郎氏による講演の後、参加者の自己紹介や講師との対話を行います。 ※第1回の講演のみ、オンラインでも配信します。
9/29(月) 13:30 ～ 15:30	ふくしま 医療機器 開発支援 センター	第2回：ファシリテーション講座 地域運営組織を円滑に進めるためのファシリテーション※2の必要性や、実施方法・コツ等を演習も含めて実施します。
10/20(月) 13:30 ～ 15:30	ふくしま 医療機器 開発支援 センター	第3回：グラフィックレコーディング講座 地域の会議やワークショップ等で役立つグラフィックレコーディング※3の効果や、実施方法・コツ等を演習も含めて実施します。
11/19(水) 13:30 ～ 15:30	ふくしま 医療機器 開発支援 センター	第4回：ロールプレイング研修・振り返り 研修内容をロールプレイング形式で振り返り、感想を共有するまとめの会です。

● 対象

市町村職員、集落支援員、集落対策に取り組む地域おこし協力隊員、中間支援組織 など

定員：20名程度

※連続講座のため、全ての回に参加可能な方を優先します。やむを得ず欠席する場合でも各会の内容を録画で配信しますので、お気軽にお申し込みください。

● 講師

田口太郎氏 (第1回)



徳島大学大学院・教授。
「地域への人的支援も含めた地域づくり」「農山漁村における自律的地域運営手法」「市民を中心とした自律的まちづくり体制の構築プロセスデザイン」などをテーマに研究、実践を行っている。

自身も徳島県の過疎集落に移住し、古民家を改修して地域生活を行っている。

みらいくる

まちづくりや地域活性化、社会教育事業等の企画・運営・調査研究等の活動の支援を通じて、住民参画によるより豊かで持続可能な社会づくりを目的として活動する中間支援団体です。

地域運営組織の立ち上げ支援や、住民ワークショップの企画・運営、グラフィックレコーディングの派遣など、多数の実績があります。
※活動紹介https://note.com/miraikuru_aizu/

お申し込み

右の二次元コードよりお申し込みください。
※定員に達し次第、締切の可能性あります。



締切り：8月8日(金)

※1 持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ：小さな拠点・RMOづくりに必要なスキルを実践的に学ぶほか、同じ思いを持つ仲間との交流などを通じて、持続可能な地域コミュニティの共創を目指す事業です。<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025a/kyoten-2024.html>
※2 ファシリテーション：話し合いや会議などで目的達成に向けて議論を促進させ、合意形成を図る、地域づくりに必要なスキルです。
※3 グラフィックレコーディング：話し合いや会議などの議論内容や提案を、絵や図形などを用いてリアルタイムにまとめる手法です。

令和7年度小さな拠点・地域運営組織形成支援事業

主催：福島県企画調整部地域振興課

運営・お問い合わせ先：みらいくる「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局

staff@miraikuru.org

作成：令和7年7月14日

申込者数：16名

実参加者数：16名

延べ参加者数：35名

※属性別内訳

自治体職員：6名

集落支援員：4名

地域おこし協力隊：2名

中間支援組織メンバー：2名

大学職員：1名

病院職員：1名

※参加市町村 6市町村

地域づくり人材スキルアップ支援事業

第1回 講演とイントロダクション

開催日時：令和7年8月27日（水）13：30～16：00


場所：ふくしま医療機器開発支援センター

参加者：12名（うちオンライン参加者5名）

内容：①講演（徳島大学教授 田口太郎 氏）

②対話ワークショップ（現地参加者のみで、自己紹介含めて講師と対話）

講師プロフィール
地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな	たぐち たろう	
氏名	田口 太郎	
所属・役職	徳島大学大学院 教授 合同会社暮らしと自治と創造・業務執行社員	
所在地	徳島県	
略歴	1976年神奈川県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修了。小田原市政策総合研究所特定研究員、早稲田大学助手、新潟工科大学建築学科准教授を経て、現職。博士(工学)。「まちづくりの自律化プロセス」をテーマに研究、実践を行っている。自身も徳島県の過疎集落に移住し、古民家を改修して地域生活を行っている。協力隊関係の著書に「地域おこし協力隊 10年の挑戦」(農文協2019、共著)、『「地域おこし協力隊」は何をおこなっているのか?」(星海社2024、単著)がある。	

第1回 持続可能な地域コミュニティ共創スキルアップ研修会

持続可能な共創に向けた土壌づくり

人口減少

- 2022年問題
- 2027年問題
- セーフティネットの行政も「JkがJkである」

ネットワーク型自治

集落点検からの地域づくり

第2回 ファシリテーション研修

地域づくり人材スキルアップ支援事業

第1回 参加者アンケートコメント

今回は貴重な機会をありがとうございました。

浜通り地域の復興支援に関わらせていただいておりますが、最後に少しお話のあった移住政策についてのご指摘は、とくに共感しました。

周囲に共有したい内容が多くありましたので、可能であれば、配布資料の共有をお願いできますと幸いです。

これ以降の研修会で予定されているかとは思いますが、参加者同士の交流の時間があればより良かったかと思えます。

とても勉強になったので、機会があればまた参加させていただきたいです。

オンライン参加だけでなく、現地参加者を増やしてより活発な会になればいいなと思いました。現地でしか得れない学び、繋がりは大きいと思います。

市町村にも広く参加してほしい内容だと思いました。見える化の効果と、ただ見せるだけでなく参加型にすることで自分ごととして捉えてもらえるようになるなど、一工夫の重要性を勉強できました。

田口さんの話は事例を交えての講義で説得力があり、共感できる点が多数あった。もっと細かい部分も聞いてみたくなった。

参加者が事例を事前に提出して講師の先生に解説してもらったり、グループワーク等があれば良いかなと思いました。

皆さんから良い刺激をいただいて、自分自身もレベルアップして、仕事に役立てたいと思っています。ワークショップのやり方を学びたいです。

地域づくり人材スキルアップ支援事業

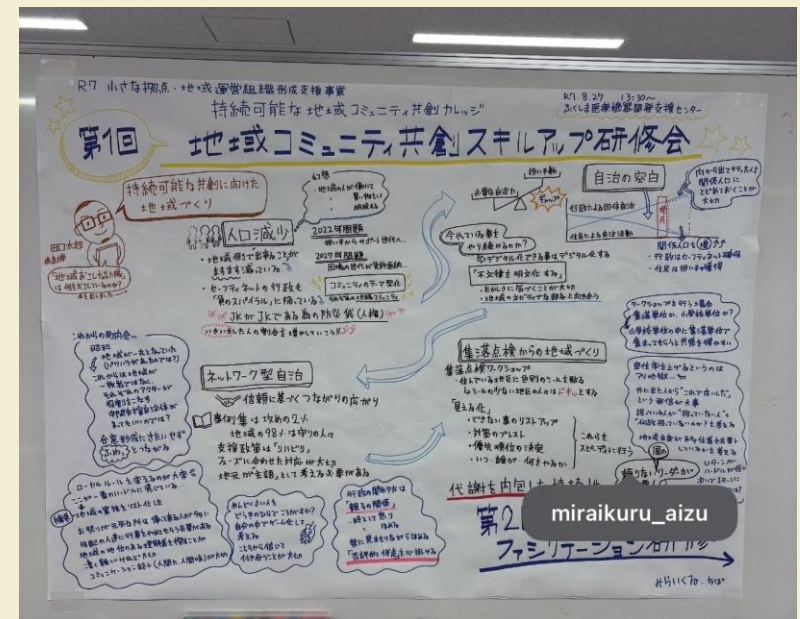
第2回 ファシリテーション講座

開催日時：令和7年9月29日（月）13：30～15：30

場所：ふくしま医療機器開発支援センター

参加者：8名

- 内容：①前回の振り返り
②ファシリテーション研修
③演習



地域づくり人材スキルアップ支援事業

第2回 参加者アンケートコメント

地域運営組織の方や、それに関わる集落支援員さんの具体的な事例や生のお話を聞いてみたいです。

気づきがたくさんありました。ホワイトボードの活用をもっと学びたい。

初めてファシリテーション講座を受けました。組織の中で多様な意見、想いが各々ある中、なかなか方向性が定まらずミーティングはあるものの、やっているだけで結果が曖昧で、合意形成しているものではありませんでした。そのため、ミーティングが終わった後に、対立意見のものがグチを言っている場面も多くみてきて、どうにかしたいと思っていました。みんなの意見を出しやすい環境づくりや、腹落ち感、“みんなで作っている”という中で合意形成をすることが大切だと感じました。地域づくりだけでなく職場づくり、組織づくりに大変役立つものだと思います。ありがとうございました。

ファシリテーションは苦手な部分だったので勉強になりました。以前講演会で会議とかはなるべく10～15人ぐらいで、お菓子を食べながら必ず一回は発言するように言いたいことは言う体制づくりが大切とお聞きしたのでそのように心がけています。間違っていなかったですね。

各部会の会議で最後に出てくる言葉が「毎回何も出ないなあ」「同じだなあ」とありました。今回の研修会で「ホワイトボードの活用」していこうと考えています。とても勉強になりました。ありがとうございました。

地域づくり人材スキルアップ支援事業

第3回 グラフィックレコーディング講座

開催日時：令和7年10月20日（月）13：30～15：30

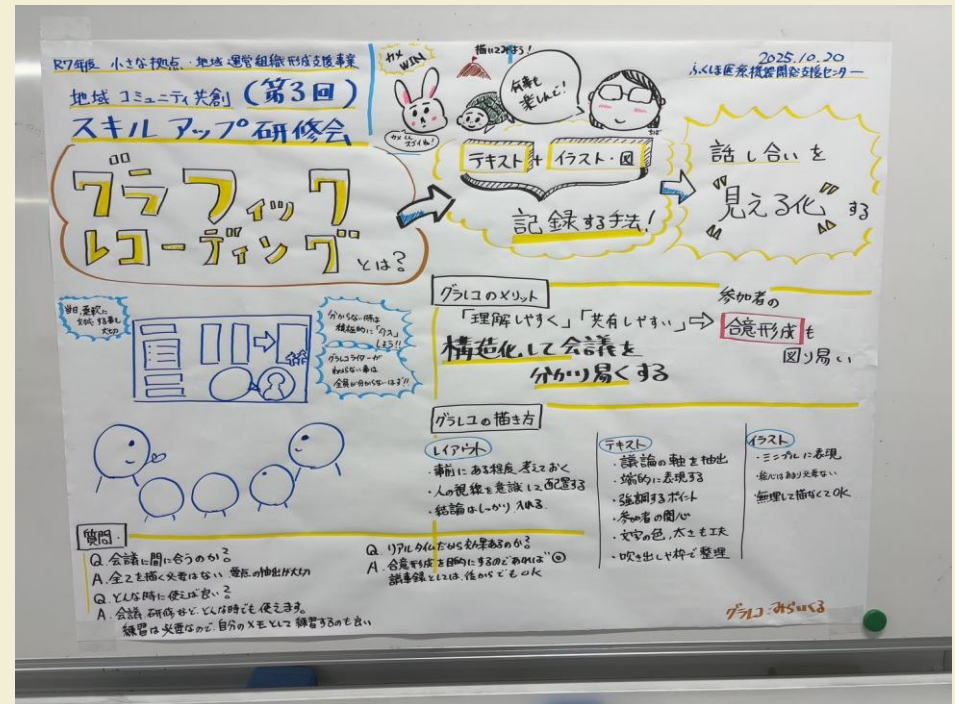
場所：ふくしま医療機器開発支援センター

参加者：8名

内容：①前回の振り返り

②グラフィックレコーディング研修

③演習



地域づくり人材スキルアップ支援事業

第3回 参加者アンケートコメント

話し合いの場を集落単位や旧小学校区単位で作っていきたいと思うので、その時の内容の共有や合意形成にとっても役立つと思いました。ありがとうございました。

「グレコ=ワークショップで行うもの」の考えが強くある様で、会議では行わないとこのように場をもらってました。今回の研修で、自分の中でやり続けていこうと思いました。

「議事録としてまとめて貰えばいい」との現状なので、書いていきながら、タイミングをみて少しずつ出していこうと思います。会議の内容を「見える化」して参加者の「どうにかしたい」の考えが先に進められる材料の一つになればと思います。

講師の方の説明や実践に持っていくまでの進め方がとても面白かった。また、説明の内容もとても分かりやすく全体的に楽しい研修でした。グラレコを実践してみると、同じ内容のポイントを抜き出すことが難しく感じられ、最後まで書ききれなかったことが残念だった。

グラフィックレコーディングをするに当たっての考え方が学べて大変勉強になった。

実際にグラレコを描いてみて、ポイントをどこにするか決めることがとても大変でした。ワークショップや打ち合わせなどしていると、どこがポイントか分からなくなってしまうことも多く、論点をまず整理しなければならないなど改めて感じました。

同じテーマでもかなり書き方やまとめ方に個性があり面白かった。より実践的なテーマ(会議)でやってみたいと思いました。

今回の研修会でグラフィックレコーディング講座をととても楽しみにしていたので大変勉強になりました。いつも会議の後、議事録をまとめるのが大変で、それを配布する郵便代も馬鹿にならないので大助かりになると思います。たくさん練習したいと思います。

地域づくり人材スキルアップ支援事業

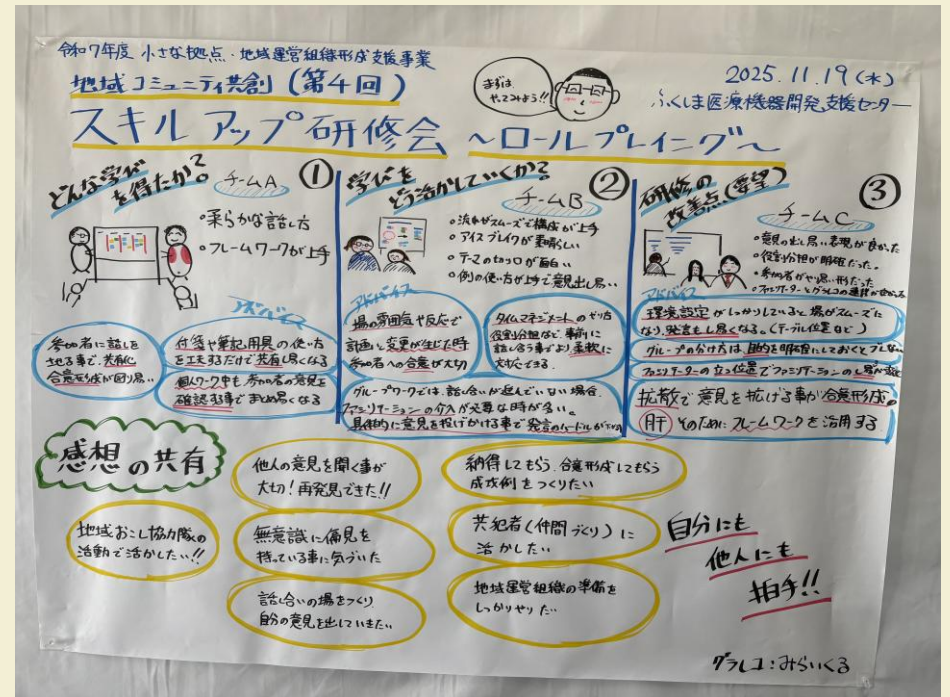
第4回 ロールプレイング研修・振り返り

開催日時：令和7年11月19日（月）13：30～15：30

場所：ふくしま医療機器開発支援センター

参加者：8名

内容：①前回の振り返り
②ロールプレイング研修



地域づくり人材スキルアップ支援事業

第4回 参加者アンケートコメント

話し合いの場を集落単位や旧小学校区単位で作っていきたいと思うので、その時の内容の共有や合意形成にとっても役立つと思いました。ありがとうございました。

「グレコ＝ワークショップで行うもの」の考えが強くある様で、会議では行わないとこのように場をもらってました。今回の研修で、自分の中でやり続けていこうと思いました。
「議事録としてまとめて貰えばいい」との現状なので、書いていきながら、タイミングをみて少しずつ出していこうと思います。会議の内容を「見える化」して参加者の「どうにかしたい」の考えが先に進められる材料の一つになればと思います。

講師の方の説明や実践に持っていくまでの進め方がとても面白かった。また、説明の内容もとても分かりやすく全体的に楽しい研修でした。グラレコを実践してみると、同じ内容のポイントを抜き出すことが難しく感じられ、最後まで書ききれなかったことが残念だった。

グラフィックレコーディングをするに当たっての考え方が学べて大変勉強になった。

実際にグラレコを描いてみて、ポイントをどこにするか決めることがとても大変でした。ワークショップや打ち合わせなどしていると、どこがポイントか分からなくなってしまうことも多く、論点をまず整理しなければならないなど改めて感じました。

同じテーマでもかなり書き方やまとめ方に個性があり面白かった。より実践的なテーマ(会議)でやってみたいと思いました。

今回の研修会でグラフィックレコーディング講座をととても楽しみにしていたので大変勉強になりました。いつも会議の後、議事録をまとめるのが大変で、それを配布する郵便代も馬鹿にならないので大助かりになると思います。たくさん練習したいと思います。